

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2010年6月6日現在

概況 ワシントン州東部の6月6日に終る1週間の気象概況は、前週に続き Cool & Very Wet の気象であった。EC地区の最高気温は68~72度F、平均気温は平年を5~7度F下回った。同地区の1週間の降水量は0.64~1.31インチであった。昨年9月1日からの積算雨量は平年を1.39~3.54インチ上回っている。SE地区の最高気温も前週より低く67~76度Fであったが、最低気温は前週より上がり43~54度Fとなり、平均気温は平年を1~2度F下回るに止まった。同地区の1週間の降水量は1.19~1.46インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は3.3日(前週:4.7日)であった。Topsoilの土壌水分は、“Surplus”が36%(5年平均:5%)となった。Subsoilの土壌水分は前週より改善し5年平均のレベルより良い状態となった。冬小麦は53%が出穂(昨年:49%、5年平均:66%)し、春小麦は99%が出芽し5%が出穂した。春小麦は昨年並びに5年平均より遅い出穂であった。Lincoln郡の冬小麦並びに春小麦は土壌水分の改善と共に作柄は上昇した。EC地区の冬小麦は多雨の為 leaf rust(赤さび病)が発生していた。Walla Walla郡に於いても多雨の1週間となり、冬・春小麦にとり有効であったが、冬小麦に strip rust(ムギ黄さび病)が発生した。生殖成長に入った冬小麦及び栄養成長期の後期となった春小麦にとり、低温・多雨の気象は好条件であった。冬小麦並びに春小麦の作柄は、前週より改善した。

土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	6	58	36
	Last week	2	10	70	18
	5-Yr Ave.	5	20	70	5
Subsoil	This week	4	22	71	3
	Last week	5	34	60	13
	5-Yr Ave.	8	28	62	1
Irrigation	This week	0	5	92	3
	Last week	0	5	93	2
	5-Yr Ave.	3	4	91	2

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	53	37	49	66

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	5	7	12	56	20
Last week	6	8	17	55	12

春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Emerged	99	98	99	99
Headed	5	NA	7	20

春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	2	19	66	13
Last week	0	2	21	68	9

(*) Source: National Agricultural Statistic Service, Washington-Field Office, USDA. 5-Yr Ave means average of past 5 years 2005,2006,2007,2008 and 2009 Crop year.

以上

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。

© Copyright 2002-2009 OMIC USA Inc. All rights reserved.